



情報ページ

Baudin's Cockatoo

Calyptorhynchus baudinii ボーダンクロオウム



雄 (左) 雌 (右)

別名

Baudin's Black Cockatoo, Long-billed Black Cockatoo.

フランス探検家 Nicolas Baudin (1754–1803) を慕い名づけられた。

脅威的な事

“Listed Endangered: Schedule 1 – Western Australian Wildlife Conservation Act”.

“Endangered: under Federal *Environmental Protection and Biodiversity Conservation Act*” これらに記載されている。

少数から適度な数でみられ、南西部ではもっとも多い。休息地では、約 300 羽ほどの群れ、希に 1200 羽ほどの大集団を形成。その数はこの 50 年間で減少しており、出生率は年間 0.6 羽と低く、それは果実栽培者に殺傷され出生率の向上を妨げている。

形態

体長 50–60 cm. 体重 560–770 g. ニシオジロクロオウム Carnaby's Cockatoo よりも、上くちばしは狭く長い。

雄: 羽毛はほとんどが茶色がかった黒、羽の後方部は濁白色でホタテ貝の形に見える。耳は濁白色の短い羽で、尾羽は中心を境に白線が尾の後方に伸びている。くちばしは黒色、ピンク色の目の周りは肌が露出している。

雌: 雄と似ているが、耳は黄色がかった白色の羽で覆われ、くちばしは灰色っぽく先端は細く濃い色。目の周りの肌は灰色。

鳴き声

“whicher whicher”, “bunyip bunyip” と群れ呼び、繁殖期は “arr”.

繁殖

Karri, Marri, Wandoo, Bullich の木の樹洞に巣をつくる。

卵を 8 月から 12 月の間に 1 個から 2 個産むが、若い 1 羽だけが育てられる。卵の孵化は雌のみが行う。

寿命 25–50 年。

分布

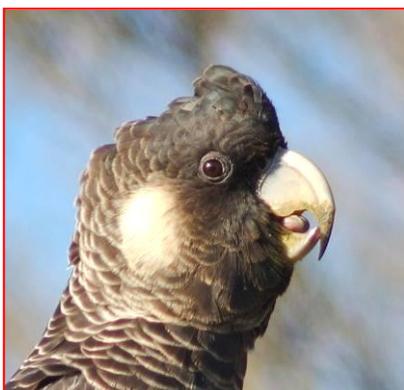
西オーストラリア州南西部の湿地を伴う範囲でみられ、北は Gidgegannup, 東は Clackline, Wandering, Quindanning, Perup River, Lake Muir, King River, そして West Midland, Gosnells, Byford, North Dandalup, Yarloop, Wokalup, Bunbury を含む東西にのびるスワン海岸平野地帯, Stirling と Porongurup 一帯, また、南海岸沿いの Waychinicup National Park. この属は西オーストラリア州だけの独特の種類である。

生息地と食餌

Jarra, Marri, Karri の木がある南ユーカリ森林郡。Eucalypts, Banksia, Hakea の種, りんごや洋梨の果実, 花の蜜, 木の芽, 花, 甲虫の幼虫を探しながら、枯れ木の皮を食べる。餌探しは地上から上空まで幅広い。



雄



雌



雌ボーダックロオウムの巣

属の脅威

森林の伐採、山火事、車による接触事故、自然界にすむみつばちが巣をつくった樹洞を略奪、また、過去では果実栽培者に害鳥として多くの数が殺傷された。

参照

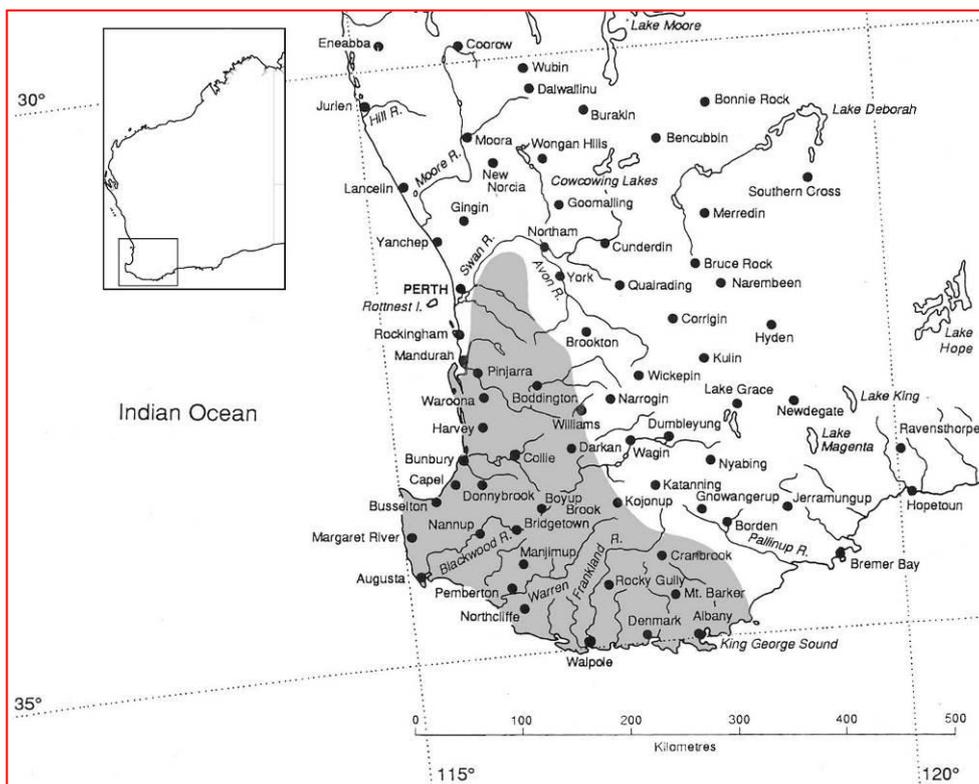
Johnstone, R.E. and Storr, G.M. (1998). *Handbook of Western Australian Birds*. Volume 1 – Non-passerines (Emu to Dollarbird). Western Australian Museum pp. 278–280.

Johnstone, R.E. and Kirkby, T. (2008). Distribution, status, social organisation, movements and conservation of Baudin's Cockatoo (*Calyptorhynchus baudinii*) in South-west Western Australia. *Records of the Western Australian Museum* **25**: 107–118.

訳 : Kimiko O



ボーダックロオウムが食べたマリー実



西オーストラリア州南西部における現在の分布